



大阪 安全宣言。

地域における防犯活動への取組

# 地域安全センターを通じた 地域防犯力の向上にむけて

大阪府では、平成21年度から地域の防犯ボランティア活動の拠点となる「地域安全センター」の設置を促進しており、本年7月末において府内878小学校区に設置されました。

この間、防犯ボランティア活動が活性化されたことで、大阪府の治安情勢は改善し、平成27年の刑法犯認知件数は、平成13年のピーク時に比べ、約60%も減少しました。

地域防犯力の向上のため、懸命に取り組んでおられる地域安全センターについて紹介します。



石河地区地域安全センター開所式

茨木市では、12カ所目の地域安全センターとなる「石河地区地域安全センター」が6月23日に開設されました。

センターは、地域で様々なボランティア活動を行ってきた「大岩パトロール隊」を中心に組織されており、開所式は、茨木市長、茨木警察署長等を招いて、盛大に開催されました。

センター開設により、防犯パトロールや児童の登下校の見まもり活動の活性化、地域ボランティア団体間の連携といった、地域に密着した活動の強化が期待されます。

太子町では、磯長・山田小学校区地域安全センターの方々が、登下校時の見まもり活動を行っています。

取材当日は、30℃を超える炎天下の中でしたが、参加された方は、下校時間より前に交差点に立って、児童が帰ってくるのを待ち児童が交差点に来れば、周囲の安全を確かめながら、1人ずつ「おかえり」と声をかけて温かく見守っていました。

参加された方は、児童から「ただいま」と声をかけられると、活動に対するやりがいを感じられるとのことでした。



磯長小学校区での下校時見まもり活動

# 地域において様々な防犯活動が行われています！

和泉市では、桃山学院大学の学生からなる防犯ボランティア団体「桃パト」と地元「いずみ緑ヶ丘自治会」のボランティアの方々が、青色防犯パトロール車を含めた下校時の見まもり活動を、一緒に行っています。

交差点ごとに、学生と自治会の方がそれぞれ立ち、児童が通るたびに、「おかえり」「気をつけてね」と安全を確かめて声をかけるなど、学生と地域住民が一体となった活動が行われていました。



桃パトと地元自治会による下校時見まもり活動



済美地域安全パトロール隊によるパトロール活動

大阪市北区では、地域の方による「済美地域安全パトロール隊」がパトロール活動等を行っています。

同隊では、平成19年からパトロール活動や子どもの見まもり活動、落書き消しといった活動を、参加者に負担がかからないように毎月1回行っています。

パトロール活動には、毎月、数十の方が参加され、若い世代の方も活動されています。

活動中は、作成した防犯啓発チラシを各商店や家に配布し、住民に防犯情報がダイレクトに届くよう工夫をこらしています。

門真市では、地域コミュニティ組織「第五中学校区地域会議」の方々が、東小学校区内で、パトロール活動を行いました。

パトロールは、地域の方々が青色防犯パトロール車による犯罪被害防止啓発広報を行うグループと、徒歩で小学校区内を見まわるグループに分かれて行われました。

車が多く通る道路や交差点等を通った際はどこに危険があるかをみんなで話し合い、参加者自身の目で、危険な個所について確かめていました。



第五中学校区地域会議によるパトロール活動